

令和6年 業種別労働災害発生状況

(令和6年10月末現在)

帯広労働基準監督署

区分 業種別	令和6年(10月末)			令和5年同期			対前年		本年分 業種 割合 (%)	
	死亡	休業 4日 以上	合計	死亡	休業 4日 以上	合計	増減 数	増減率 (%)		
全産業合計	4	415 (12)	419 (12)	5 (1)	460 (9)	465 (10)	-46	-9.9	100.0	
除く鉱業計	4	415 (12)	419 (12)	5 (1)	459 (9)	464 (10)	-45	-9.7	100.0	
製造業	1	62 (2)	63 (2)		71	71	-8	-11.3	15.0	
内 訳	食料品	39	39		47	47	-8	-17.0	9.3	
	木材木製品	12	12		11	11	1	9.1	2.9	
	紙・パルプ									
	窯業・土石				1	1	-1			
	金属・機械	5	5		3	3	2	66.7	1.2	
	その他	1	6 (2)	7 (2)		9	9	-2	-22.2	1.7
鉱業					1	1	-1			
土石採取業		4	4		4 (1)	4 (1)			1.0	
建設業	2	47	49	1	58 (1)	59 (1)	-10	-16.9	11.7	
内 訳	土木工事業	2	16	18	1	13 (1)	14 (1)	4	28.6	4.3
	建築工事業		14	14		23	23	-9	-39.1	3.3
	木造建築業		7	7		14	14	-7	-50.0	1.7
	その他		10	10		8	8	2	25.0	2.4
道路貨物運送業		40 (4)	40 (4)	3 (1)	48 (3)	51 (4)	-11	-21.6	9.5	
その他の運輸業		2	2		4	4	-2	-50.0	0.5	
陸上貨物取扱業										
港湾荷役業		1	1				1		0.2	
林業		14	14	1	9	10	4	40.0	3.3	
漁業					1	1	-1			
卸売・小売業		55 (1)	55 (1)		38 (1)	38 (1)	17	44.7	13.1	
清掃業		19 (2)	19 (2)		30 (1)	30 (1)	-11	-36.7	4.5	
その他の事業	1	171 (3)	172 (3)		196 (2)	196 (2)	-24	-12.2	41.1	
内 訳	農業		18	18		13	13	5	38.5	4.3
	畜産業	1	25	26		43	43	-17	-39.5	6.2
	接客娯楽業		27	27		14	14	13	92.9	6.4
	農業協同組合		10	10		6	6	4	66.7	2.4
	その他		91 (3)	91 (3)		120 (2)	120 (2)	-29	-24.2	21.7

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したものです。

()内は、交通事故内数です。

令和6年 死亡災害発生状況

帯広労働基準監督署

発 生 月	時 刻	業 種	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
4 月	8 時 台	畜 産 業	は さ ま れ 、 巻 き 込 ま れ	動 力 伝 導 機 構	牛の餌の混合機が一体となった給餌トラックを運転し、牛の餌やり作業に従事していた被災者が、混合機内のオーガスクリューに巻き込まれ死亡している状態で発見されたもの。
7 月	1 4 時 台	自 動 車 整 備 業	そ の 他	そ の 他 の 環 境	被災者は、同僚が運転するトラクターを牛舎に入れるために誘導していたところ、牛舎内に巣を作っていた蜂に刺されたもの。
8 月	8 時 台	砂 防 工 事 業	お ぼ れ	水	砂防堰堤工事現場において、川岸で測量を行っていた際、川幅約20mの地点で対岸に行こうとした被災者が、水深約1mの箇所です川に流され、その後下流約2kmの地点で心肺停止の状態で発見されたもの。
9 月	1 4 時 台	上 下 水 道 工 事 業	崩 壊 、 倒 壊	地 山 、 岩 石	掘削後の配管敷設作業において、掘削深さ約4.2m、幅約1.2mの箇所に立ち入り床均し作業に従事していたところ、側壁の土砂が崩壊し、1名が死亡、1名が負傷したもの。

本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。